

完全型房室中隔欠損修復に向けた工夫と中期遠隔期成績に関する研究

1. 研究の対象

2010年4月～2023年10月に当院またはJCHO中京病院で完全型・中間型房室中隔欠損に対する心内修復手術を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

目的：房室中隔欠損は、心臓の中心部分の構造が適切に構成されないため、さまざまな解剖学的特徴と臨床症状を示します。肺血流増加から肺高血圧となったり、房室弁逆流や、これらによる心不全が問題となり、とくに完全型では、生後早期に手術介入が必要となります。手術のゴールは、動静脈血が心内で混ざらないようにすることと、房室弁逆流のコントロールで、今回、完全型房室中隔欠損修復に向けた工夫を検討し、中期遠隔期成績を詳にします。

方法：診療録、手術記録（含画像）を元に後方視的に研究

期間：倫理委員会承認日から2025.3.31まで

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、手術記録（含画像）等

4. 外部への試料・情報の提供

情報：病歴、手術記録（含画像）等の情報は全て匿名化し、当院に集積し、保管します。外部に試料・情報が提供されることはありません。

5. 研究組織

あいち小児保健医療総合センター小児心臓病センター心臓血管外科・村山弘臣

JCHO中京病院心臓血管外科・櫻井寛久

名古屋大学医学部心臓外科・櫻井 一、六鹿雅登

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先：あいち小児保健医療総合センター

部署名 心臓血管外科 研究責任者名 村山弘臣

〒474-8710 愛知県大府市森岡町七丁目 426 番地

電話 0562-43-0500（代表）FAX 0562-43-0513